

文化財も郷土の誇り

昨年11月3日の文化の日には、八潮市郷土研究会の主催で、第1回の郷土文化財展が開かれました。

一堂に集められた古文化財、家宝として伝える古文書や掛軸、古民具や珍しいもの。徳川時代以前のものから、明治時代までの貴重な品々が、過ぎ去った時代を静かに語りかけていました。八潮の土地に代々伝えられ、たいせつに保存された文化財を、参観者の方がたは、興味深く鑑賞し、意義深い催しでした。県や市の指定文化財は、つぎのとおりです。

□ 市指定文化財

八条八幡宮	板碑 (弘安7年)
清勝院	山門
"	不動明王像
大経寺	円空仏 (千手観音像)
専称寺	円空仏 (獅子頭金剛像)
"	弥陀庚申塔
常然寺	万人の塔
新井正一郎氏	八条殿社御神体掛軸
八条入谷	八条殿社古墳

□ 市指定無形文化財

2丁目	獅子舞 (民俗芸能)
大瀬	獅子舞 (")

□ 県指定無形文化財

長板本染	
初山一之助氏	
根本朝一郎氏	
大熊栄市氏	

以上3名の方がたは、長板本染の伝統的な技術を今日に伝える方として、無形文化財の指定を受けておられ、現在も元気で活躍中です。



八条八幡宮にある板石塔婆
(弘安7年)



清勝院の不動明王像 (鎌倉時代)



清勝院の宝きょう塔 (鎌倉時代)



常然寺の万人の塔